

# 相生の森通信 8

\*\*市民の声が反映される街づくりを目指して\*\*

市道弥富相生山線を考える市民の会

2014年5月25日発行

HP:<http://www.aioiyama.info/>

## 弥富相生山線の住民意向の調査についての検討委員会がスタート

工事中断から、ここまでの経過をもう一度振り返ってみました！



第1回検討委員会が4月16日に開催。調査のスケジュールは市民には非公開！

●2010年1月：河村市長の指示で工事中断。「相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」発足。  
2010年12月：「報告書」が委員会より市長に提出。報告書は工事の中止・続行には触れていない。

●現在に至るまで、市民団体・環境団体による道路建設反対の要望書・公開質問状が市長あてに多数提出されている。

●名古屋市は工事中断中後も「施工ワーキング」を現在まで開催。「ワーキングのススメ」も発行。

●2013年4月：市長選挙のマニフェストで「相生山の道路建設は住民投票で行う。住民自ら高度な責任ある判断を」と発表。

●2013年8月「愛知の健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」で「わしは道路建設を止めたい」と河村市長発言。

●土木交通委員会で工事再開が議題に上がり、マスコミも取り上げ、動きが活発になる。

●市民団体・環境団体は要望書・請願書・質問状を提出。「市民の会」は「市民集会」開催。

●2013年11月：地元4学区の区政委員長等と市長非公式の話し合い。上記5人は「工事の早期再開」などを求めて請願書提出。12月請願採択。

●タウンミーティングで弥富相生山線中止を求める発言が相次ぐ。

●2014年3月：3つの市民団体・環境団体から「住民投票を」「話し合いの場を」「検証を」の請願。

●4月：土木交通委員会で3つの請願審議打ち切り。

■2014年4月16日、第1回「検討委員会」が開かれました。「市政情報」掲載の内容は以下に紹介します。「意向調査」のスケジュールについては「住民に不安を与える」（電話問合せによる）という理由で非公開資料となっていて、市民には公表されません。市民が請求して手に入れた「市長説明議事メモ」ではその部分は黒塗りでした。

### ◆市政情報掲載の議事録から

■検討条件は議会における付帯決議①決算委員会（9月）までに調査を完了する。②地域住民に亀裂を生むようなことはしない。

「亀裂」って何のこと？情報を共有しあい、考えあい、討論しあって自分の結論を決めるのが民主主義。直接市政に参加するチャンスです！

■検討委員会の構成メンバーは市長・新開副市長・市民経済局長・緑政土木局長・天白区長・緑政土木局副局長・天白区区民生活部長。委員会の指示命令を受ける「幹事会」（関連局区の課長級職員）と「作業部会」（関連局区の係長級職員）は、委員会に提案・実施・報告をする。

■調査方法：調査の対象、方法と内容等を検討・決定する。関係者への説明と意見聴取を行う。地元学区、環境団体への説明と意見聴取の方法、議会への報告のタイミングなどについて検討する。事務局は道路建設課。

どのように調査方法・内容・対象の検討に市民の意見が反映されるかが問題です。市民が自然と街づくりについて考え合う良い機会ですね。持続可能な社会を子どもたちに渡すために！